

規格外農産物利用による新たな特産品づくり事業

取組に至る背景・事業の目的

地元農産物を活用した特産品（加工品）づくりをすることで、規格外農産物に市場価値を与えらるるもに、他地区との差別化を図る。

また、地域で推奨できる特産物・食品加工品を選定PRすることで、地域ブランドの創出に寄与する。

事業内容

- スイカ・桃・リンゴを原材料とした調味酢の試作品づくり
平成23年度事業で開発した試作品の改良研究
製造工程の改良による安定した製造の試行
- スイカ・桃・リンゴを原材料とした化粧水等の試作品づくり
- 製品PRイベントの展開
商品名公募イベント：68作品応募 選考2作品
- 地域ブランドデザイン・製品イメージの設定
- ワーキンググループによる研究会等の開催
製品の価格調査の実施
食品技術相談研究（県工業技術総合センター食品技術部門）



【スイカ・桃・リンゴを活用した加工品】

事業効果

地域を代表する農産物でありながら加工商品がなかった、スイカ・桃・リンゴを活用した次の加工商品（7種類）が完成したことで、夏の名産品であるスイカや桃、秋の味覚であるリンゴを、四季を通じてPR宣伝に活用できるようになった。

- 原酢・飲料用調味酢「食彩びねがあ」
- 化粧水・石鹸・シャンプー・トリートメント・入浴剤「信州波田美人」

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

イベント・見本市等を通じて、さらに広くPRし、販路を開拓していくことで、地元を代表する特産品として定着を図る。また、消費者意見を反映し、より完成度の高い商品にするとともに商品群の構成見直しについて検討する。

今回の商品化を通じて、地域ブランドの必要性を関係団体等に広く認識、波及させることで、さらなる地域ブランドの創造を図りたい。

【選定のポイント】
地場生産果実（スイカ、桃、りんご）を使った食酢、化粧品、シャンプー等の改良を重ね、商品化につながった。地域イベント等での試飲や試供などで消費者のニーズを細かく把握している点や商品名称の公募、統一シンボルマークの製作により地域に根差したブランド開発が行われた点が評価でき、今後の販路拡大と地域ブランドとしてのさらなる発信が期待できる。

| | | |
|--|-------|--------------|
| 団体名 松本市波田商工会 | 事業タイプ | ソフト事業 |
| 連絡先 0263-92-2246 | 事業費 | 1, 235, 157円 |
| ホームページ http://www.mhata-sci.jp/ | 支援金額 | 1, 008, 000円 |